

# ハチ博士のミツバチコラム

44



京都学園大学 坂本文夫名誉教授 (バイオ環境学部)

## ミツバチの恵み

ミツバチが人間にもたらしてくれる恵みは八(蜂)あると言われます。この八つの恵みとは、蜂蜜、ローヤルゼリー、プロポリス、花粉、ハチの子、蜜蝋、ハチ毒、そして花粉媒介です。始めの五つは主に食品として、蜜蝋は化粧品などの原料、ハチ毒はリウマチなどの痛みを和らげる

薬品として、そして花粉媒介は確実な受粉によって農産物を高めるものとして私たちの生活に役立っているのです。最近、ミツバチと人間との関係について考える機会があり、八つの恵みの枠に入らない恵みがあることに気付きました。そこで、ミツバチのミツにかけて、三つの恵みを追加したいと思います。

その1は、住みやすさの指標になるということ。飼育されているミツバチは厳密には環境指標生物とは言えないでしょうが、庭や道端や果樹園に咲く花々にミツバチが訪花している風景は住みやすい環境そのものといえます。ミツバチを飼育して、その地域の安心・安全をアピールしようという運動も始まっています。

その2は、人と人の縁を取り持つ不思議な力です。見知らぬ者同士が、ミツバチの話で盛り上がったたり、ミツバチが縁で仲間ができ、その輪がどんどん大きくなるという経験をした。その仲間の輪が、ミツバチ以外のビジネスや地域振興などにも役立っているという体験談をいくつか聞いています。その3は、ミツバチの「癒し」です。最近、ミツバチの愛好家が増えています。その理由の一つが「懸命な姿に励まされ、元気をもらえるので飼いたい」なのです。ミツバチが居なくなると喪失感を感じていたが、再び飼い始めたところ、症状がなくなったという実話を聞いたことがあります。

八つと三つ、合わせて十一の恵みですが、もっと有るかもしれません。先日、巣箱の前で寿命の尽きた一匹のミツバチを見つけ、手にとりました。そして、素直な気持ちで「沢山の恵みをありがとう、そしてお疲れ様ー」と言うことが出来ました。



イラスト おおくぼひとみさん



## 救急出動7年連続で最多更新

平成27年中に京都市内で発生した救急事故の発生状況について紹介します。

出動総件数は8万3千336件であり、前年と比較して千593件増加しました。救急車の出動は、年々増加し、平成27年中は、1日平均228件出動しており、6分19秒に1回出動していることになりました。

救急車を要請する理由で、最も多いものは、「急病」(65.9%)であり、次いで、転倒負傷などによる「一般負傷」(15.3%)、3番目に「交通事故」(9.9%) となりました。



救急車を要請する理由の第一位である「急病」については、前年と比較して、千323件増加し、全体の増加件数の約8割を占めています。

今後も、高齢化とともに救急出動が増加することが予測されます。

命を脅かすような病気やけがのときに救急車を安心して利用できるよう、救急事故の予防や早めの受診を心掛けましょう。

※数値については速報値

## 第24回中京区民ボウリング大会が開催されました

1月24日(日)にMKボウル上賀茂で開催された同大会には162名の方が参加され、会場は大いに盛り上がりました。

ゲーム終了後、団体及び個人の成績発表と表彰式が行われ、発表のたびに大きな歓声が沸き上がりました。



▲団体の部優勝 城巽学区の皆さん

### 【個人(各部門の優勝者)】

- 【シニア】 久保 喜弘さん(朱三) 502点
  - 【一般男子】 藤川 邦晴さん(朱三) 441点
  - 【一般女子】 山本 栄子さん(朱六) 348点
- ※2ゲームのスクラッチトータル(合計点数)

### 【団体】

- 優勝 城巽学区 (1,877点)
- 準優勝 朱三学区 (1,859点)
- 第3位 朱二学区 (1,784点)
- 第4位 朱五学区 (1,771点)
- 第5位 龍池学区 (1,754点)

※上位5名の2ゲームのスクラッチトータル

### 大会結果

※大会結果は中京体振HPでもご覧いただけます。

中京体振

## 第30回「大文字駅伝」大会



2月14日(日)に開催された京都市小学校「大文字駅伝」大会。予選を勝ち抜いた53小学校の児童が、衣笠小学校前から岡崎公園野球場までの約12kmを駆け抜けました。

中京区からは、4校が出場し、大健闘しました。大会結果は以下のとおりです。  
朱雀第四小7位、朱雀第三小8位、御所南小20位、高倉小34位



中京区地域介護予防推進センターでは、区内の65歳以上で介護保険サービスを使われていない方を対象に介護予防事業を行っています。

運動や口腔機能向上等の教室(参加無料)や地域の集い等への運動に関する専門家の派遣を通して、おひとりおひとりがいつまでも元気に過ごしていただく「健康長寿のまち・京都」を目指しています。

詳しくはお気軽にお問い合わせください。

## 介護予防始めませんか?

問合せ 中京区地域介護予防推進センター  
(081-03389)

※問合せは月々土の午前8時半〜午後5時にお願います。



## しるべ

### 中京区ゆかりの人物②

明治政府の高官であった木戸孝允は、鴨川畔の近衛家の別邸を京都別邸として購入しました。明治10年(1877年)、木戸は京都滞在中に病に伏し、別邸で亡くなります。

木戸が没した木造二階建ての家屋は、京都市職員会館かもがわ(土手町通夷川上る末丸町)に隣接した敷地に現在も残ります。

### ★に当てはまる漢字1文字をお答えください。

前回の正解 「襖」でした。現在、二条城では東大手門・番所の保存修理工事を行っています。今後ともご協力をお願いします。

亡くなる少し前、西郷隆盛が★南戦争を起こしました。木戸は最後まで国の行く末と盟友であった西郷の両方を案じていたと伝えられます。



木戸が没した木造家屋

### 応募方法

はがきに、クイズの答えと住所・氏名・紙面のご感想を記入し、ご応募ください。抽選で3名の方に「トラフィカ京カード」をお贈りします。  
宛先 〒604-8588 中京区役所「クイズ」係  
締切り 3月31日(木)  
※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。